

第2学年 国語科学習指導案

指導者 小田村 裕子

場 所 2年2組 教室

1 単元名

生き物の「すごい」を見つけて、生き物クイズを作ろう

教材文 「ビーバーの大工事」(中川 志郎)

2 単元設定の理由

- 本学級の児童(男子15名、女子16名)は、日頃から読書に親しんでいる。生活科で育てている野菜や、飼育している生き物について調べるために図書室で積極的に科学的な本を読む姿が見られる。

児童は、1年「いろいろなふね」の説明教材を通して、観点に沿って文章を読んだり乗り物についての本を調べたりする学習に取り組んだ。また2年「たんぼぼ」の説明教材では、時間的な順序に気を付けながら大事なところに線を引き、内容の大体を読む学習をしてきた。子どもたちは読むことに積極的だが、順序立てて内容を捉えることが苦手な面がある。また内容を読み取る際には、意欲的に線を引いたが、大事なところ以外にも線を引くことがあり、内容を正確に読み取れているとはいえないことが少なくない。そこで、読み取りの意欲をより高める言語活動を設定することで、くわしく読み取ろうとする意欲を培いたいものである。

- 本単元は、教材文の「ビーバーの大工事」や児童にとって身近な生き物に関する本から、時間的な順序・事柄の順序に気を付けて生き物の生態を読み取ることと、「生きものひみつクイズ」を作ることによって、文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことをねらいとしている。

教材文の「ビーバーの大工事」は、ビーバーの巣作りを例として挙げ、ビーバーの体の特徴やダム作りについて時間的な順序が分かりやすく書かれている。また、ビーバーが敵に襲われないために安全な巣作りをする様子が比喩表現や数値を使った表現で効果的に書かれており、順序に気を付けて正しく読み取りやすい。

そこで、児童がビーバーの生態に触れることで「すごい」と感じたことをきっかけにすれば、学びの意欲を高めていけると考える。

さらに、別の科学的な本でも多くの情報を収集・選択し、教材文でつけた読み取る力を活用しながらクイズを作ったり、答えを探したりする発展的な学習につなげることができる。

- 指導にあたっては、以下の点に留意する。
 - ・教材文での読み取りで培った力を活かした並行読書を仕組むことにより、生き物について書かれた文章の大事な言葉や文を書き抜いたり、時間的な順序や事柄の順序に気を付けて内容の大体を読んだりすることができるようにする。
 - ・並行読書する本は、生き物の体の仕組みや行動の優れた点などが捉えやすいものを

6 本時案（第二次 3 / 9時）

- (1) 主眼 生きものひみつクイズを作るために、生き物の「体のつくり」と「できること」を関連づけて読むことができる。
- (2) 準備物 掲示用教材文、ワークシート、並行読書の本
- (3) 展開

過程	学習活動 ・ 内容	○指導上の留意点 ◆評価 （評価方法）
つかむ / 考える・深める / まとめる	<p>1 前時の学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ビーバーのすごい」と、自分の選んだ本の生き物の「すごい」を見つけたこと 	<p>○前時の学習内容を確認することで、本時の課題へと意識をつなげるようにする。</p>
	<p style="text-align: center;">体のつくりの すごいところを 見つけよう</p> <p>2 ビーバーの体の仕組みの「すごい」ところを話し合う。</p> <p>(1) ビーバーの歯のすごいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体のつくり→大工さんのつかうのみのようなすどくて大きい歯 ・できること→木をかじる <p>(2) 後ろ足のすごいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体のつくり→水かきがある ・できること→体をおしすすめる <p>(3) 尾のすごいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体のつくり→オールのような形 ・できること→かじをとる 	<p>○歯のすごいところを全体で読み取りワークシートに書かせることで、ワークシートの使い方を理解できるようにする。</p> <p>○板書を工夫することで、「体のつくり」と「できること」が関連づけられるようにする。</p> <p>◆ビーバーの体の仕組みについて書いてある言葉や文を見つけ、線を引くことができたか。（教科書）</p>
	<p>3 並行読書している本から生き物の体のつくりのすごさについて読み取る。</p> <p>【ザリガニのはさみ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体のつくり→前の4本のつめの先が、はさみになっている ・できること→えさをつかまえて食べる <p>【カブトムシの舌】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体のつくり→毛の舌 ・できること→舌にたっぷり樹液をひたす <p>【メダカのお腹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体のつくり→上向きについている口 ・できること→水面に浮いているえさを食べる 	<p>○自分で選んだ本に線を引かせ、ワークシートに記入させることで、生き物の体のつくりとできることを区別できるようにする。</p> <p>◆科学的な読み物でも体の仕組みについて書いてある言葉や文を見つけ、線を引いたりワークシートにまとめたりすることができたか。（並行読書の本・ワークシート）</p>
	<p>4 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時でできるようになったこと 	<p>○本時の学習を振り返ることで、本時でついた力の価値付けと次時への意欲づけを行う。</p>

精選することで、児童が教材文と関連をもちながら読み取りができるようにする。

- ・導入では、教師がつくった「生きものひみつクイズ」を提示し、学習の見通しがもてるようにするとともに活動への意欲を高めることができるようにする。
- ・第二次では、ビーバーの体の仕組みやダムづくりなど文章を読む観点を明確にすることにより、大事な言葉や文を書き抜いたり時間的な順序や事柄の順序に気を付けて読んだりできるようにする。
- ・第三次では、作ったクイズを互いに出し合い正しく答える活動を仕組むことで、解答するために本を繰り返し読み、順序をおさえて大体を読み取ることができるようにする。
- ・適時、ペア学習やグループ学習などを取り入れることにより、互いの読み取り方を交流しながら理解を深めることができるようにする。

3 単元の目標

- 生き物の生態について興味関心をもち、進んで本を読んで調べることができる。
- 時間的な順序や事柄の順序に気を付けて生き物の生態を読み取ることで、「生きものひみつクイズ」を作ることができる。
- 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことで、「生きものひみつクイズ」を作ることができる。
- 文の中における主語と述語との関係に注意することができる。

4 単元の評価規準

【言語活動】生きものひみつクイズを作ろう		
国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・生き物の生態について興味関心をもち、進んで本を読んで調べようとしている。	・「生きものひみつクイズ」を作るために、時間的な順序や事柄の順序に気を付けて生き物の生態を読み取っている。 ・「生きものひみつクイズ」を作るために、クイズの問いや答えに必要な文章の中の大事な言葉や文を書き抜いている。	・文の中における主語と述語との関係に注意している。

5 単元の指導と評価の計画（全9時間 本時3 / 9）

過程	時	学習活動	□評価規準（評価方法）	
第一次	1	「生きものひみつクイズ」のモデルを提示し、学習のめあてをもつ。 「ビーバーの大工事」の全文を通読し、語句の意味を確認する。 並行読書をする本を選ぶ。	関 生き物について興味をもち、学習内容の見通しがもてるように、教師自作のモデル「生きものひみつクイズ」を提示する。 (発言・態度)	
	2	全文を通読し、「ビーバーのすごい」を見つける。 自分で選んだ本を通読し、その生き物の「すごい」を見つける。	関 教材文に興味をもち、進んで学習に取り組もうとしている。 (発言・ワークシート)	
第二次	3 本時	教科書や自分で選んだ本から生き物の体の仕組みについて読み取る。	読 生き物について書かれた本を並行読書していく。	
	4	ビーバーのダム作りの順序について書かれている箇所を見つけ、内容の大体を読み取る。		読 生き物の体のつくりとできることを読み取ることができている。 (教科書・並行読書の本への書き込み・ワークシート)
	5	ビーバーの巣作りまでの順序を考えながら内容の大体を読み取る。		読 ダムづくりの順序をワークシートに書き込むことができている。 (ワークシート)
	6	自分で選んだ本から時間的順序のある文章を見つけ、内容の大体を読み取る。		読 巣作りまでの順序をワークシートに書き込むことができている。 (ワークシート)
第三次	7・8	並行読書から読み取った内容をもとに、クイズを作る。	言 主語と述語の関係に気を付けて、クイズを作っている。 (カード)	
	9	生き物について作ったクイズを出題し、解答するために本を繰り返し読み、順序をおさえて大体を読み取る。	関 興味をもってクイズを聞き、文章から答えを見つけようとしている。 (児童の姿)	

- 1 単元名
生き物の「すごい」を見つけて、生き物クイズを作ろう
「ビーバードの大工事」
- 2 単元目標（本時3／9）
- 生き物の生体について興味関心を持ち、進んで本を読んでも調べることができる。
 - 時間的な順序や事柄の順序に気を付けて生き物の生体を読み取ることで、「生き物」のひみつきクイズを作ることができ。
 - 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことで、「生き物」のひみつきクイズを作ることができ。
 - 文の中における主語と述語との関係に注意することができ。
- 3 主眼
「生き物のひみつきクイズ」を作るために、「生き物の「体をつくり」と「できごと」を関連づけて読むことができる。
- 4 評価
ビーバードの体の仕組みについて書いてある言葉や文をきいて、線を引くことができている。
科学的な読み物でも体の仕組みについて書いてある言葉や文を見つけて、線を引いたりワークシートにまとめている。

教材文の
拡大コピー

後ろ足

歯

お

つくり(形)

できること

つくり(形)

できること

できること

体のつくりのすごいところを見つけてよう。

本時の流れ

1. 前時の学習を確認する。
 - ・「ビーバードのすごい」と、自分の選んだ本の生き物の「すごい」を見つけたこと
 - 前時の学習内容を確認することで、本時の課題へと意識をつなげるようにする。
2. ビーバードの体の仕組みの「すごい」ところを話し合う。
 - ・ビーバードの歯のすごいところ
(体のつくり・できごと)
 - ・後ろ足のすごいところ
(体のつくり・できごと)
 - ・尾のすごいところ
(体のつくり・できごと)
 - 歯のすごいところを全体で読み取りワークシートに書かせることで、ワークシートの使い方を理解できるようにする。
 - 板書を工夫することで、「体のつくり」と「できごと」が関連づけられるようにする。
3. 並行読書している本から生き物の体のつくりのすごさについて読み取る。
 - ・ザリガニのはさみ(体のつくり・できごと)
 - ・カブトムシの舌(体のつくり・できごと)
 - ・メダカのお腹(体のつくり・できごと)
 - 自分で選んだ本に線を引かせ、ワークシートに記入させることで、生き物の体のつくりとできごとを区別できるようにする。
4. 本時の学習の振り返りをする。
 - ・本時でできるようになったこと
 - 本時の学習を振り返ることで、本時でついた力の価値付けと次時への意欲づけを行う。